

無 聖

第75号



◆「譲り伝えん 御仏の道」

- 会長 長谷川俊昭2
- ◆第25期役員・理事紹介3
- ◆平成29年度第1回研修会報告4
- ◆平成28年度 事業報告5
- ◆平成28年度 収支決算報告6
- ◆平成29年度 事業計画7

- ◆平成29年度 予算書8
- ◆委員会活動計画9
- ◆傾聴行茶活動報告10
- ◆平成29年度ソフトボール大会報告10
- ◆サンタピアアップみやぎ活動報告11
- ◆事務局だより12



会長挨拶

護り伝えん 御仏の道

第25期会長 耕徳寺 住職
長谷川俊昭

宮城県曹洞宗青年会第二十五期会長就任に際しご挨拶を申し上げます。

先ず七月の九州北部豪雨でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに被害に遭われたすべての皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

また一日も早い復旧復興を会員一同ご祈念申し上げます。

この度、四月の定例総会において宮城県曹洞宗青年会第二十五期会長を拝命いたしました。第十一教区石巻市耕徳寺住職長谷川俊昭と申します。もとより非才不徳の身ではありますが、誠心誠意、覚悟をもって大任を果たしてまいれる所存であります。何卒宜しくお願い申し上げます。

今期、宮城県曹洞宗青年会は創立五十周年の節目を迎えます。諸先輩老宗師が真に仏道に歩まれ、研鑽を重ねられた歴史を受け継ぎ、当会の目的「会員相互の研修と親睦」「布教教化活動の推進」の実現に向けて、また会員の皆様、地域社会に寄り添った活動を目指して、第二十五期役員一同務めてまいります。

さてその五十年の歩みを振り返っても、先の東日本大震災後は、青年会においても激動の六年間でありました。未曾有の大震災、甚大な被害に茫然自失、誰もが自らの無力さを痛感させられました。

そのような状況でも拠り所となり、青年宗侶として「今、成すべきこと」を示してくれたのも、復興支援を通じ強い連帯感、「絆」を築かせてくれたのも青年会活動でした。

諸先輩老宗師から受け継いだ「青年会は先ず行動」その志を胸に、被災御寺院様の片付けや物資配給炊き出しに一意専心、復興支援に取り組まれた第二十二期奥野会長。その後、仮設住宅での傾聴を中心とした支援活動と共に震災前の通常行持、研修会、ソフトボール大会、チャリティバザー等を状況を鑑みながら再興、粉砕砕身務められた第二十三期天野会長。

さらには、仏教者としての原点、すべての方々の苦しみ悲しみに寄り添い「ひとの安らぎを自らの安らぎとする」慈悲の実践、菩薩行の継続を旨としたスローガン「自己を磨ぎ他に尽さん」のもと、通常行持の本格的展開と共に第四十一回東北地区曹洞宗青年会地方

集会「宮城大会」主催した第二十四期。

特に「宮城大会」は第一部東日本大震災七回忌法要、第二部復興祈念行持、第三部追悼復興コンサートの三部構成とし、その規模もさることながら、参加者の皆さんはもとより我々、随喜者にも深い感動を呼ぶ、そして多くの方々「心の復興」（教化）の一助となる意義のある大会となりました。第二十四期は多忙を極める中で前期北村会長の揺るぎない信念と役員会が懸命に一丸となり活動を展開された期でありました。また布教教化の重要性をあらためて考える機縁となり、これからの活動の道標を指し示していただいたと考えております。

創立から四十八年の歴史は、諸先輩老宗師が仏道を護り、伝えられた歩みであり、それが御仏の教えを実践し続け仏恩に報いる姿、青年宗侶のあるべき姿であります。我々もそのお姿に学び、仏道に日々精進してまいります。

「今期スローガンと運営方針」

第二十五期スローガンを「護り伝えん御仏の道」とさせていただきます。

今期各委員会がそれぞれ多角的観点から、「今」求められる研修、事業を企画、会員相互の資質向上の場とし、さらには各自の積極的な布教教化の実践に繋げる当会の目的「会員相互の研修と親睦」と「布教教化活動の推進」を目標に取り組んでまいります。

東日本大震災後、社会では宗教者がより注目されています。それは我々が期待をされているということに他なりません。未だお察し切れない悲しみの中にお暮らしたの方々、また全国各地で発生する自然災害や社会問題、日々激しく変化を続ける世の中に、不安や苦しみを抱えられている方々に、青年宗侶として寄り添い耳を澄まし傾けること、ともに歩み続けることが我々の使命であると考えます。

そのような青年宗侶を目指していく為にも御仏から脈々と絶えることなく伝えられた、教えを受け継ぎ、そして未来へお伝えしていく（相承）、自覚と意識を高めていける青年会活動となるよう共に研鑽に努めてまいります。

「五十周年記念事業」について

宮城県曹洞宗青年会創立五十周年を記念し、来年秋に「記念式典」「基調講演会」を開催すべく準備委員会を発足、検討を重ねております。併せて「五十周年記念誌」の発行に向け広報編集委員会を中心に編集を進めております。五十年の歩みを振り返り学び、これからの青年会、青年宗侶としてあるべき将来像を考えた内容を目指し取り組んでまいります。

「サントピアアップみやぎボランティア会」について

七月二日に開催された総会席上、規約に準じ主管をする宮曹青会長としてサントピアアップみやぎボランティア会においても会長を拝命いたしました。役員改選もされ、総会にて通算十九校目となるトゥール・ワラサン小学校建設を承認いただきました。時を経て国内外においてもボランティアを取り巻く環境や考え方も変化を遂げております。これまでの伝統や絆を受け継ぎながらも、時代に即応した活動を行ってまいります。

また今期はさらに活動の場、支援の輪を広げていけるよう広報活動にも力を入れたいと考えております。

結びに

私事ではありますが、顧みますと安居を終え間もなく、右も左も分らないまま住職となった私に、青年宗侶としてだけではなく人として、多くを学び、沢山のかけがえのない出会いを頂戴したのが青年会でした。

「仏道に生きる」我々のあり方を示され、厳しくも温かく助言いただける先輩方を勝手ながら兄のように慕い、ともに切磋琢磨し支え合う仲間を兄弟のように思いながら十八年間、活動に参加してまいりました。いつかは、このご恩返しと心に決めておりましたががしかながらその責務は重大であります。尚一層の御指導、お力添えを賜りながら務めてまいります。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、御寺院様、会員の皆様、並びに関係各位におかれましては、当会への益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

第25期 役員・理事紹介

顧問	庶務	会計	事務局長	交流事業副委員長	広報編集副委員長	ボランティア副委員長	研修副委員長	交流事業委員長	広報編集委員長	ボランティア委員長	研修委員長	全	全	監事	全	全	副会長	会長		
北村 暁秀	牧野 隆信	阿部 真龍	都築 達明	小石川 一幸	千田 祥幹	笠松 秀俊	松山 宏成	時 泰 広	鈴木 信亮	八巻 英成	吉田 義弘	長尾 靖樹	館 寺 規弘	眞山 隆宏	三輪 宗俊	二階堂 法淳	高橋 信弘	清水 大伸	神作 紹道	長谷川 俊昭
法山寺	高林寺	光寿院	鉤取寺	安養寺	洞雲寺	東周院	昌林寺	満興寺	海蔵寺	保福寺	道安寺	宗恵寺	円満寺	東泉寺	多福院	潤洞院	大慈寺	慶雲院	清涼寺	耕徳寺



●全国曹洞宗青年会

教化法式委員	長尾 靖樹	宗恵寺
臨床宗教師特別委員	酒井 禪悦	清水寺
臨床宗教師特別委員	高橋 悦堂	普門寺

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会

常任幹事	長谷川 俊昭	耕徳寺
幹事	神作 紹道	清涼寺
幹事	清水 大伸	慶雲院
幹事	千田 祥幹	洞雲寺



●教区理事紹介

第1教区	伊達 吉信	福聚院御山内
第2教区	井上 寛尚	林香院御山内
第3教区	榆木 泰教	養松院御尊董
第4教区	長澤 信慈	秀麗齋御山内
第5教区	高橋 大輔	常光寺御尊董
第6教区	笹木 友宏	東禪寺御山内
第7教区	根來 浩之	善盛寺御尊董
第8教区	千葉 恵慈	香林寺御山内
第9教区	平地 博昭	養性寺御山内
第10教区	三浦 正和	玄松院御山内
第11教区	米谷 照道	西雲寺御山内
第12教区	畑山 泰賢	満照寺御山内
第13教区	永松 泰樹	長谷寺御山内
第14教区	吉田 亮顕	林昌院御尊董
第15教区	館寺 俊明	津龍院御尊董
第16教区	三浦 賢道	清涼院御山内
第17教区	三宅 良幹	洞林寺御尊董
第18教区	佐藤 泰澄	松岩寺御山内
第19教区	金子 高幸	大雄寺御尊董
第20教区	藤原 俊洋	洞雲寺御尊董
第21教区	大窪 紘道	正法寺御山内

平成29年度第一回研修会 報告

講師：曹洞宗国際センター所長・藤田一照老師

平成二十九年七月七日（金）、第二教区林香院様を会場に、曹洞宗国際センター所長・藤田一照老師を講師にお迎えして第一回目の研修会を開催いたしました。

当日は猛暑にもかかわらず正会員、賛助会員、県内外の御寺院様合わせて四十八名の方々にご参加いただきました。

今期の宮曹青の研修テーマである「参禅弁道」を多角的に学ぶため、藤田老師には、今般宗務庁より教化資料として発行された自著「坐禅読



→講師を勤めていただいた藤田一照老師



本一身心の調う道一」を講本として、第一部講義と

いただきました。

藤田老師には、「正法眼蔵」の各巻や「普勧坐禅儀」、「坐禅用心記」等の両祖の祖録等の教えを大前提とした坐禅の本質を、如何にして少しも変えずに、機に応じて柔軟に指導できるか、ということが現代の宗侶である我々に求められている、とのご提言をいただきました。

第一部講義では、「習禅」と「坐禅」、「三界の法」と「仏祖の法」の違いとは具体的にどう理解すべきか、坐禅においての、「自（みずか）らが調える」から「自（おの）ずから調う」への移行について等々学びました。私たちが普段聞き慣れない単語や考察等を交えながらも、非常に具体的に説得力のある内容に参加者一同深い興味をもって拝聴させていただきました。

ました。

第二部実修では、講義での内容を基に、ご自身が普段指導されている坐禅指導を参加者全員で実修し、その一端を体験させていただきました。

「身心脱落の坐禅」へ段階的に近づく為の工夫として、藤田老師が提唱する「ソマティックワーク（Somatic Work “Soma”）」は、外面的に見る体“Body”とは逆の、内面から見る体という意（意）をご指導いただきました。ヨガの姿勢の中で最上位とされる「屍のポーズ」から、からだ、呼吸を徐々に落ち着かせながら、ゆっくりと時間をかけてリラククス状態を作りつつ坐禅の姿勢にたどり着くという、ある種不思議な感覚を覚える内容でした。

第一部と第二部合わせて三時間の講義はあつという間に過ぎ、参加者一同が坐禅につ



いての理解と感覚を新たにできた内容となりました。藤田老師には、最後まで懇切丁寧にご指導いただき、また質疑応答にも分かりやすくお答えいただきました。そして、閉講の際には、会場全体が感謝の心を込めた大きな拍手に包まれました。

このたびの研修会開催にあたり、様々な形でご加担ご協力下さいました皆様に誌上をお借りして深謝申し上げます。報告に代えさせていただきます。

尚、第二回研修会は十一月を予定しております。

（研修委員長 館寺規弘）

平成 28 年度 事業報告 (関連事業も含む)

●宮城県曹洞宗青年会

月日	事 項	場 所	備考 1	備考 2
平成28年				
4月6日	監査会	道安寺 (利府町)		
//	宮城大会運営委員会⑤	//		
4月11日	役員会①理事会①	道安寺 (利府町)		
4月19日	定例総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		54名出席
//	宮城大会研修会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		49名参加
5月6～11日	祈りの道 (宮城担当8～11日)	福島・岩手・宮城		延べ79名参加
5月26日	傾聴活動「仏一息」	南方仮設		31名参加
6月9日	教化研修会	林香院 (仙台市)		44名参加
6月14日	熊本地震支援托鉢	石巻市内		18名参加
6月21日	役員会②理事会②	道安寺 (利府町)		
//	宮城大会運営委員会⑥	//		
7月3日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺(仙台市)		29名参加
7月4日	宮城大会 会場視察	仙台サンブラザ		
7月6日	ソフトボール大会	富谷町総合運動公園		328名参加
8月4日	宮城大会実行委員会①	道安寺 (利府町)		
8月5日	会報「無聖」73号発行	福聚院(仙台市)		
8月15日	終戦行持「戦災慰霊供養・平和祈念の鐘」	県内御寺院		
9月6日	カンボジア教育支援チャリティバザー	登米蔵ジウム	来場者243名	前日準備併せて163名参加
9月8日	宮城大会実行委員会②	仙台サンブラザ		
9月16日	宮古市台風被害支援活動	岩手県宮古市内		15名参加
9月26日	總持寺 侍局・前川老師法要打合せ	大本山總持寺		8名拝登
9月28日	第1回研修会	林香院(仙台市)		56名参加
10月19日	役員会③理事会③	道安寺(利府町)		
//	宮城大会運営委員会⑦	//		
11月8日	宮城大会実行委員会③	仙台サンブラザ		
11月9日	東北地方集會「宮城大会」	仙台サンブラザ	一般来場者1908名	県内外曹青273名参加
11月30日	東北地協 復興祈願法要	福島県昭和村 正法寺		12名参加
12月5～7日	カンボジアフェア	S E L V A (仙台市)		延べ47名出席
12月14日	役員会④理事会④	道安寺 (利府町)		
//	宮城大会運営委員会⑧	//		
12月19日	年次総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		66名出席
平成29年				
1月23～25日	移動研修会	熊本・長崎		22名参加
2月2日	会員大会 第1部 サンタピアップ講演会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	72名出席
//	会員大会 第2部 ボーリング大会	ポウルサンシャイン	正・特別会員	87名出席
//	会員大会 第3部 懇親会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	97名出席
2月16日	傾聴活動「仏一息」	石巻市内仮設		17名参加
2月20～21日	ハガキリサイクルキャンペーン	多福院 (石巻市)	県内外青年会	延べ30名出席
3月11日	震災七回忌法要随喜派遣	県内御寺院		47名参加
3月15日	曹福青 七回忌法要 復興祈念行持	郡山市市民文化センター		12名参加
3月25日	役員会⑤理事会⑤	道安寺(利府町)		
//	宮城大会実行委員会④	//		
3月31日	会報「無聖」74号発行	福聚院(仙台市)		

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会

平成28年				
4月5日	常任幹事会・定例幹事会	ホテルグランテラス仙台国分町		5名参加
11月9日	東北地方集會「宮城大会」	仙台サンブラザ	一般来場者 1908 名	県内外曹青273名参加

●全国曹洞宗青年会

平成28年				
5月17日	中央研修会	東京グランドホテル (宗務庁)		11名出席
5月17日	定期総会	//		11名出席
11月16日	震災七回忌法要	大本山總持寺	天野地協会長・北村会長・坂本副会長	3名参加
//	臨時評議委員会・臨時総会	//		
12月2日	味来食堂	亙理町吉田公民館		5名参加
平成29年				
3月10日	震災復興祈念行持	福島ルンビニ幼稚園 円通寺		5名参加

●全日本仏教青年会

平成28年				
4月26日	花まつり千僧法要	奈良県東大寺		11名参加
平成29年				
3月11日	震災七回忌法要	孝勝寺(仙台市)		2名参加

平成28年度 宮城県曹洞宗青年会収支決算報告

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I 会費収入	3,135,000	3,360,000	225,000	
1.正会員	1,690,000	1,910,000	220,000	10,000円×191名
2.賛助会員	685,000	710,000	25,000	5,000円×142名
3.特別会員	760,000	740,000	▲20,000	10,000円×74団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	5,931	162,661	156,730	祝賀添菜 前年度無聖送料残金 祈りの道謝礼 県梅花大会謝礼 利息等
IV 繰越金	1,059,069	1,059,069	0	
合計	4,450,000	4,831,730	381,730	

●支出の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I 会議費	260,000	207,000	▲53,000	
1.総会費	100,000	100,000	0	定例総会・年次総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	35,000	25,000	▲10,000	会場費
4.委員会費	100,000	57,000	▲43,000	5委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,015,032	▲234,968	
1.消耗品費	100,000	52,730	▲47,270	事務用品、用紙代等
2.通信費	600,000	532,757	▲67,243	郵送料、振込手数料、電話料
3.印刷費	150,000	55,620	▲94,380	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4.備品費	150,000	137,990	▲12,010	事務機使用料
5.慶弔費	50,000	35,935	▲14,065	香資1万・供花2万(⑩滝澤寺様)、慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	1,700,000	1,659,683	▲40,317	
1.研修委員会	300,000	283,722	▲16,278	研修会・移動研修会
2.ボランティア委員会	250,000	240,467	▲9,533	チャリティーバザー
3.広報編集委員会	600,000	663,120	63,120	『無聖』73号74号発行 HP管理費等
4.交流事業委員会	200,000	163,274	▲36,726	ソフトボール大会、会員大会
5.教化委員会(教化費)	100,000	99,100	▲900	研修会×1回
6.事業諸費	250,000	210,000	▲40,000	旅費補助(全曹青・地協参加者・千僧法要)
7.会員名簿作成費	0	0	0	
IV 負担金	225,000	241,000	16,000	全曹青・地協会費
V 予備費	415,000	0	▲415,000	
VI 雑費	150,000	198,371	48,371	渉外活動費、各会議茶菓、全日仏広告料、等
VII 繰出金	450,000	450,000	0	
ボランティア基金	200,000	200,000	0	
特別事業準備金	0	0	0	
復興支援活動金	50,000	50,000	0	
宮城大会準備金	200,000	200,000	0	
合計	4,450,000	3,771,086	▲678,914	

■特別会計決算書

ボランティア基金	849,792円
特別事業準備金	2,160,717円
復興支援活動金	715,403円

総収入 4,831,730円
 総支出 3,771,086円
 差引 1,060,644円

平成28年度の決算書を上記の通り提出致します。 平成29年4月18日 会長 北村暁秀®

【監査報告】平成29年4月6日、3教区道安寺様において監査を行い

平成28年度一般会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。

監事 鈴木 俊龍 ®

二階堂 法淳 ®

眞山 隆宏 ®

平成29年度 事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月日	事 項	場 所	備 考
平成29年			
4月6日	監査会	道安寺	
4月11日	理事会①	道安寺	
4月18日	定例総会・合同委員会	ホテルニュー水戸屋（仙台市）	
5月下旬	50周年事業準備委員会①発足	洞雲寺	
6月上旬	理事会② 50周年事業準備委員会②以降適宜開催	洞雲寺 //	
6月22日	ソフトボール大会	富谷市総合運動公園	
7月2日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺	サンタピアップ関係
7月7日	第1回研修会	林香院	
7月中旬	50周年事業運営委員会①発足以降適宜開催	洞雲寺	
8月下旬	「無聖」75号発行		
8月下旬	会員名簿発行		
9月16日	カンボジア教育支援チャリティバザー	3教区「松島文化観光交流館」	
10月5日	梅花県奉詠大会	仙台サンプラザホール	サンタピアップ関係
10月上旬	理事会③	洞雲寺	
11月	第2回研修会	未定	
12月	カンボジアフェア	セルバ	サンタピアップ関係
12月上旬	理事会④	洞雲寺	
12月中旬	忘年会	未定	
平成30年			
1月下旬	会員大会	未定	
2月中旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月中旬	理事会⑤	洞雲寺	
3月下旬	「無聖」76号発行		
3月下旬	カンボジア小学校贈呈式（予定）		サンタピアップ関係

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催
 ※50周年準備委員会・運営委員会は適宜開催
 ※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会

平成29年			
5月8日	常任幹事会・定例幹事会	山形市	
10月30日	東北地方集会「青森大会」	青森県八戸市	

●全国曹洞宗青年会

平成29年			
5月18日	全国曹洞宗青年会 総会	東京グランドホテル（宗務庁）	

●全日本仏教青年会

平成29年			
4月26日	花まつり千僧法要	奈良 東大寺	

平成 29 年度 宮城県曹洞宗青年会予算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

●収入の部

項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	備 考
I 会費収入	3,135,000	3,280,000	145,000	
1.正会員	1,690,000	1,830,000	140,000	10,000円×183名
2.賛助会員	685,000	700,000	15,000	5,000円×140名
3.特別会員	760,000	750,000	▲ 10,000	10,000円×75団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	5,931	4,356	▲ 1,575	祝賀添菜・利息等
IV 繰越金	1,059,069	1,060,644	1,575	前年度より
合 計	4,450,000	4,595,000	145,000	

●支出の部

項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	備 考
I 会議費	260,000	210,000	▲ 50,000	
1.総会費	100,000	50,000	▲ 50,000	定例総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	35,000	35,000	0	会場費
4.委員会費	100,000	100,000	0	4委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,200,000	▲ 50,000	
1.消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品・用紙代等
2.通信費	600,000	550,000	▲ 50,000	郵送料・振込手数料・電話料
3.印刷費	150,000	150,000	0	封筒印刷・プリンタインク代補助等
4.備品費	150,000	150,000	0	事務機使用料
5.慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	1,700,000	2,050,000	350,000	
1.研修委員会	300,000	250,000	▲ 50,000	研修会2回
2.ボランティア委員会	250,000	250,000	0	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	600,000	0	『無聖』75・76号発行・HP管理費等
4.交流事業委員会	200,000	200,000	0	ソフトボール大会・会員大会
5.教化委員会(教化費)	100,000	50,000	▲ 50,000	研修会1回
6.事業諸費	250,000	250,000	0	旅費補助等(全曹青・千僧法要)
7.会員名簿作成費	0	450,000	450,000	正・賛助・特別会員名簿
IV 負担金	225,000	250,000	25,000	全曹青・地協会費
V 予備費	415,000	385,000	▲ 30,000	
VI 雑費	150,000	150,000	0	渉外活動費・各会議茶菓等
VII 繰出金	450,000	350,000	▲ 100,000	
1.ボランティア基金	200,000	50,000	▲ 150,000	
2.特別事業準備金	0	0	0	
3.復興支援活動金	50,000	0	▲ 50,000	
4.宮城大会準備金	200,000	—	—	
5.50周年事業準備金(新設)	—	300,000	300,000	
合 計	4,450,000	4,595,000	145,000	

■特別会計決算書

ボランティア基金	899,792円
特別事業準備金	2,160,717円
復興支援活動金	715,403円
50周年事業準備金(新設)	300,000円

総収入	4,595,000円
総支出	4,595,000円
差引	0円

平成29年度の一般会計並びに特別会計予算書を上記の通り提出いたします。

平成29年4月18日 会長 長谷川俊昭 ㊞

委員会活動計画

研修委員会

委員会趣旨

第二十五期の研修委員会におきましては、スローガンに掲げられた「護り伝えん 御仏の道」をもとに、活動したいと考えております。

具体的には、宗門の教えの根幹をなす「参禅并道」を基本に据えて、様々な観点からのご教示を受けながら、更なる理解を深めていけるよう研鑽の機会を設けます。そして当会の目的の一つである「布教教化の推進」を、各々が実践していくにあたって、その一助となるような研修活動にしていきたいと考えております。

平成二十九年度事業計画(案)

- ① 第一回研修会（七月七日）
- ② 第二回研修会（十一月予定）



委員長 館寺 規弘

ボランティア委員会

委員会趣旨

今年度のボランティア委員会は、チャリティバザー担当のほか、前期より行っている傾聴活動の継続として積極的に「サンタピアアップみやぎボランティア会」の事業に加担して参ります。

創立五十周年の大きな節目に「護り伝えん 御仏の道」をスローガンに掲げ、東日本大震災でお亡くなりになられた方・被害に遭われた方の心に寄り添い、御仏の教えを胸に僧侶の自覚をもって教化・ボランティア活動を行ってまいります。

平成二十九年度事業計画(案)

- ① チャリティバザーの開催（九月十六日・会場は三教区内）
- ② 傾聴活動（被災地域の事情等を考慮し適宜開催）



委員長 長尾 靖樹

広報編集委員会

委員会趣旨

当会会報「無聖」の年二回発行、会員名簿発行、HPの運営・管理を行います。「無聖」はこれまでの形態を踏襲しながら、この期の特色を出す企画を進め、親しみ易い会報を目指します。HPに関しては、内容をわかり易くし、多くの方に閲覧して頂けるよう努めて参ります。また今期は「護り伝えん 御仏の道」のスローガンのもと、五十周年という節目の期となるので、来年度発行に向けて記念誌の編集を進めてまいります。

平成二十九年度事業計画(案)

- ① 無聖七十五号・七十六号発行
- ② 会員名簿の発行（七月下旬予定）
- ③ 宮曹青HPの運営・管理
- ④ 五十周年記念誌の編集（平成三十年度発行）



委員長 吉田 義弘

交流事業委員会

委員会趣旨

これまで続けてきた会員相互の親睦交流を基に、青年会活動活発化の一助となるよう事業を推進して参ります。胸襟を開き、会員同志「ひと」として接する交流事業や「護り伝えん 御仏の道」の示す通り、東日本大震災の支援活動等を実践し、次世代に繋がる交流事業の企画運営を目指します。

平成二十九年度事業計画(案)

- ① ソフトボール大会
日時：六月二十二日（木）
会場：富谷市総合運動公園
- ② 会員大会
（平成三十年一月下旬予定）
- ③ 復興支援活動（被災地域の事情等を考慮し適宜開催）



委員長 八巻 英成

傾聴行茶活動

ほっとひといき

仏一息 活動報告

今年度第一回目の傾聴行茶活動「仏一息」を登米市南方仮設住宅にて行いました。

仏一息開始以来何度も伺いしている仮設住宅なので顔なじみの住人の方も多く、私たちを温かく迎えてくださいました。仮設から移られる方が増え、また悪天候の中、昨年より来場者数が減ることも予想しておりましたが、志津川からお越しいただいた方々もおられ、二十名近くの方に来場いただきました。

今回は十四教区大慈寺家族様を講師にお招きし、お茶会（茶道）を行いました。お昼には十四教区青年会様を中心に炊き出しをしていただきました。当日は、冷やし中華という献立で、こちらも皆さんに美味しいと喜んでいただきました。今年の夏には全員が仮設を出られるということで「お別れ会」の意味も込めまして、ゆっくりお話が出来るようにと企画いたしました。

今年度夏に全員が公営住宅等に移られる予定で、参加者は「仮設を出られることはいいことだけれど入居者も少なくなると夜出歩くのが怖くなった。それぞれが新しいところへ移るけれど皆で集まるのがなくなると寂しい。こういう場があればまた皆に会えるから嬉しい。ただ最後に残る一人は可哀そうで。」とおっしゃっておられました。住人の皆さんは新しい場所で一からコミュニティを作る難しさに不安を抱え、今のコミュニティが崩れることのもどかしさを抱いている方が多くいらっしゃいます。合言葉は「元気に故郷の志津川へ帰ろう！」だったのですが、素直に喜べないところもあるようでした。これからは仏一息が皆さんの集まる場となっていければ良いなと思うところです。

今回参加いただいた皆様大変ありがとうございました。

（ボランティア委員長 長尾靖樹）



曹洞宗宮城県宗務所・宮曹青共催

平成二十九年年度ソフトボール大会 報告書

去る平成二十九年六月二十二日に富谷市総合運動公園グラウンドにて「曹洞宗宮城県宗務所・宮曹青共催 平成二十九年年度ソフトボール大会」が開催されました。

開催当日は朝こそ小雨に見舞われましたが、皆様のご協力の元、グラウンド整備を行っていただき、その後天候にも恵まれ、三〇八名の会員が白球を追う熱戦が繰り広げられました。

試合は全二十四チーム、六グラウンドを使用し予選リーグを行い、その後八チームで決勝トーナメントが行われました。点数を取り合う乱打戦や、一点を争う拮抗した試合、またファイナルプレーも続出し、どのグラウンドでも声援が飛び交っていました。

昼には雲一つない晴天となり、決勝トーナメントの熱戦の結果、清月記チームの初優勝で今年のソフトボール大会は幕を閉じました。試合が終わるころには、真っ赤に日焼けした清々しい姿で会場を後にしていました。

県内行持でも最も多くの人が集まるだけに、楽しくそして大事無く終了できたことが何よりであったと思います。

この大会のためにご尽力いただいた皆様、ご参加の会員皆様、本当にお疲れさまでした。

最後に「やっぱり準備体操は大切です。」

（交流事業委員長 八巻 英成）



宮曹青主管 カンボジア教育支援活動

サンタピアップみやぎ ボランティア会

平成二十九年 定例総会 報告

去る七月二日(日)午後三時より国分尼寺様(仙台市新寺)を会場に、平成二十九年「定例総会」と「研修会」が開催されました。

研修会では講師として「社団法人サンティア国際ボランティア会」より嘉味田倫慧氏・眞屋友希氏をお招きし、「カンボジアにおける教育支援」〜サンティアの歴史・活動、カンボジアの現場〜と題してお話をいただきました。当日は三十五名ご出席のもと、通算十九校目となる小学校建設に向けて更なる発展に努めていくことが確認されました。

本年度の事業としては、これまでの書き損じハガキ・切手収集、古本リサイクル事業などのほか、学校建設などを展開してまいります。



『小学校建設地決定』

トゥール・クラサイン小学校

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキ・未使用の切手・支援金をもとに、通算十九校目となる小学校を建設させて頂くことになりました。建設地はトゥール・クラサイン小学校(カンボジア王国バットアンバン州サンパウ・ルン群セレイ・ミンチエイ集合村トゥール・クラサイン村)となります。



『古本・CDリサイクル』による支援

- 皆様のご家庭にある、漫画や文庫本・CD等の買い取りを『BOOKOFF(ブックオフ)』の※宅本便(無料集荷)を利用し、インターネット上で依頼してご提供頂きます。
- ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座を当会の口座に指定することで、当会への寄付(支援)金となります。

● ご提供下さった方には、後日お礼状と領収証を発送させて頂きますので、お手数ですが当会事務局宛まで電

子メール又は、お電話にてご提供者さまの発送情報をお知らせ下さい。

◎ご提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ宅本便」で検索・ご依頼下さいますようお願い致します。

指定口座『ゆうちょ銀行』

【記号】 18110 【口座番号】 05490731

【名義】 サンタピアップみやぎボランティア会

一枚のハガキや切手が支えます

書き損じハガキ・切手の送り先

〒九八一一三三二 仙台市泉区根白石町東5
泉根白石郵便局留「サンタピアップ」宛

支援金の送り先

郵便振替口座

名 義 サンタピアップみやぎボランティア会
口座番号 0229016148744

サンタピアップ事務局

〒九八一一三三二
仙台市泉区根白石町西上二七 満興寺内
TEL: 〇二二―三七六―三九二〇(専用)
FAX: 〇二二―三七九―四九五七
E-mail: info@santapi.com
ホームページ: <http://www.santapi.com/>

事務局長 時 泰広

平成二十九年年度正会員新入会員

・第二教区	大蓮寺副住	桑原 賢龍
・第二教区	秀林寺徒弟	大石 淨玄
・第四教区	東禅寺徒弟	三宅 俊尚
・第五教区	恵林寺徒弟	佐藤 宏明
・第七教区	湯船寺徒弟	仙石 鳳順
・第八教区	皆傳寺徒弟	高島 音哉
・第十一教区	高福寺徒弟	吉田 裕喜
・第十五教区	福田寺副住	橘 勇貴
・第二十教区	実相寺徒弟	菅原 潤一

平成二十九年年度正会員卒業の方々

・第一教区	柳生寺住職	佐藤 無憂
・第三教区	東雲院副住	堀越 正知
・第三教区	化度寺副住	根来 興宣
・第八教区	大樹寺住職	天野 大真
・第二十一教区	清水寺住職	大友 孝彦



事務局だより

平成二十九年年度定例総会 並びに合同委員会報告

去る四月十八日(火)午後一時三十分より、ホテルニュー水戸屋に於いて「平成二十九年年度定例総会」が開催されました。初めに副会長坂本顕師より開会宣言、第二十四期会長北村曉秀師より挨拶があり、続いて事務局から定足数を満たす計百一十二名(出席者七十名、委任状五十二通)により今総会の成立が報告されました。議長には第教区伊藤孝裕師が選出され、議長進行のもと次の議案について審議され、全て承認されました。終わりに副会長神作紹道師の閉会宣言を以つて無事に終了いたしました。



審議事項

- ① 東北地協「宮城大会」報告並びに決算報告
- ② 平成二十八年年度東日本大震災復興支援活動報告並びに決算報告
- ③ 平成二十八年年度事業報告
- ④ 平成二十八年年度収支決算報告並びに監査報告
- ⑤ 第二十五期役員選出について
- ⑥ 平成二十九年年度事業計画(案)
- ⑦ 平成二十九年年度予算(案)

総会終了後、引き続き同所に於いて「合同委員会」が開催され、会長より役員・委員へ委嘱状が交付されました。各委員会に分かれ本年度の各委員会事業について打合せが行われました。

カンボジア教育支援

第二十三回チャリティバザー開催のお知らせ

〔日時〕 平成二十九年九月十六日(土)午後一時～販売
〔場所〕 宮城県松島町磯崎字浜一―二
松島文化観光交流館「アトレ・eHall」
今年も会員皆様のご参加・物品提供
ご協力をお願いします！

編集後記

お盆も近づき連日暑さが続いております。
宮曹青五十周年を迎える今期は「護り伝えん 仏の道」をスローガンに各事業を進めてまいることになりました。
これまで活動をつなげて下さった皆様・支えて下さった多くの方々にも、今の宮曹青をお届けできるよう、見やすく分かりやすい編集を心掛けてまいります。

〈広報編集委員長 吉田 義弘〉



表紙写真

坐禅実修の様子



無聖 第75号 (平成29年8月4日発行)

表紙題字 宗務所長 小野崎秀通 老師
編集 宮城県曹洞宗青年会
発行人 長谷川俊昭
事務局 宮城県仙台市泉区
山の寺2-3-1 洞雲寺内
TEL 090-2849-3830(専用)
FAX 022-372-3427
URL http://miya-sousei.com
E-mail info@miya-sousei.com